

アロマセラピー & ハーブ²

花粉症の症状（鼻水、鼻づまり、目のかゆみ等）にあわせた精油のブレンド（対策レシピ）をご用意し、初めての方でも抵抗なく生活に取り入れられるようアドバイスします。一般の大人向けだけではなく、妊産婦や子供向けの対策もご提供します。

【アロマセラピー画面イメージ】



【お料理レシピ画面イメージ】



お料理レシピ³

「シダックス・マザーフードレシピ」より花粉症の方にお勧めする料理をご提供します。

桜や行楽シーズンと重なる花粉シーズンを気持ちよく過ごすことができるよう花粉症対策の情報を是非ご活用ください。

1 妊婦と子供の花粉症について(医療法人社団西端耳鼻咽喉科診療所院長 西端慎一医師(NPO 花粉情報協会理事))

妊娠中は、胎児に与える影響を考えると、ステロイド薬や抗ヒスタミン薬の服用は控えるのがいいでしょう。鼻アレルギー診療ガイドライン(2005年度版)では、「妊娠4カ月半までは原則として薬物を用いることは避けた方が安全」とし、まずは、薬に頼らない温熱療法や入浴、蒸しタオル、マスクの活用を勧めています。妊娠4ヶ月以降どうしても薬が必要な場合は、鼻噴霧メケカルメディエーター遊離抑制薬や鼻噴霧用ステロイド薬などの局所用薬を最小量で用いる場合があります。

また近年、花粉症発症の低年齢化が言われています。食生活の変化やストレスなどの生活環境が影響しているとも考えられます。それ以外にも親が花粉症だと子供も発症しやすいと言われています。しかも、妊娠中に母親が花粉症を発症すると、胎児もそのアレルギー体質を受け継ぐ場合が見られます。今後の疫学調査や研究に期待したいところですが、子供が早期に花粉症を発症しないためにも、妊娠中から母親は花粉を吸い込まないよう対策を講じることが子供の花粉症発症を回避する一つの手段と言えます。

2 英国 IFPA 認定アロマセラピスト 中村あづさ氏(有限会社アロマティーク代表取締役社長)提供

3 シダックス株式会社総合研究所提供

『花粉情報』の概要	
提供期間	平成 19 年 1 月 19 日 (金) ~ 花粉シーズン終了まで
内容および提供時間	<p>花粉飛散予報: 1日2回 08時(今日予報)、18時発表(明日予報)及び週間予報 都道府県47箇所、花粉の飛散予報を「少ない」「やや多い」「多い」「非常に多い」の4ランク表示で提供します。(本州はスギ・ヒノキの花粉、北海道はシラカバの花粉飛散予報)</p> <p>花粉! 最前線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画! 花粉ショー: 毎週木曜日更新 気象予報士の女性キャスターが花粉前線図や花粉飛散状況を分かり易く解説する動画番組です。スギ・ヒノキに加え北海道のシラカバ花粉の解説も行います。 ・予報士は見た! 花芽ちゃん花粉情報: 週1回更新 全国各地の花芽のふくらみ具合と地域密着の花粉症対策(医師監修)を気象予報士がコメントと画像で毎週レポートします。 <p>花粉の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花粉症とは 花粉症と風邪の区別や大気汚染と花粉症の関係など、医師に取材した内容を提供します。 ・花粉と天気 花粉が多く飛ぶ天気図や、花粉症の飛散予報と前年夏の関係など花粉と天気の関係について解説します。 ・教えて! ドクター 花粉症に関する質問内容についてQ&A形式で医師に解説していただいています。 <p>花粉症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー・ハーブ編: 週1回更新 鼻づまりや目のかゆみなど症状別にアロマセラピーやハーブの活用方法を提供します。 ・お料理レシピ編: 週1回更新 花粉症の症状を悪化させない食材を選び、その作り方を提供します。 ・暮らしの工夫編 花粉を体内に取り込まないお出かけの際の服装や室内に花粉を取り込まない掃除や洗濯の仕方について解説します。
URL	http://www.tenki.jp/kfn/index.html
お問合わせ先	<p>財団法人 日本気象協会 首都圏支社営業部 お客様課 〒170-6055 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 55F TEL:03-5958-8147、FAX:03-5958-8144</p> <p>株式会社 ウェブプロデュース 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2 丁目 3-22 第1秋山ビルディング 3F TEL:03-5251-8650 FAX:03-3505-0755 E-mail: otenki@webproduce.co.jp</p>

【花粉情報 TOP 画面イメージ】



【地域詳細画面イメージ】

